

HP掲載用

平成26年度 北信越ブロック審判講習会
— 記 録 —

主催 北信越バスケットボール協会

期日 平成26年6月21日(土)～22日(日)

会場 敦賀市総合運動公園体育館

—北信越バスケットボール協会・審判部—

平成26年度 北信越ブロック審判講習会 実施要項

- 1 主催 北信越バスケットボール協会
- 2 主管 福井県高等学校体育連盟 福井県バスケットボール協会
- 3 期日 平成26年6月21日(土)～22日(日)
- 4 会場 敦賀市総合運動公園体育館 敦賀市沓見149号1番地 Tel 0770-23-6638
- 5 講師 (公財)日本バスケットボール協会審判委員会派遣講師 湯浅 剛 氏
渡辺 雄吉 氏
福井県バスケットボール協会 審判審査委員長 桑村 弥 氏
- 6 参加者 北信越ブロック長 川端 孝博 氏
石川県審判長 矢部 篤雄 氏
富山県審判長 竹村 和敏 氏
新潟県審判長 平澤 明男 氏
長野県審判長 大井 明 氏
福井県審判長 仲埜 弘幸 氏
- 7 受講生 石川 : 吉田 智子(29) 中村 勇也(28)
富山 : 竹田 雄介(29) 山本 達也(27)
新潟 : 鈴木 宏(39) 早川 貴章(25)
長野 : 鈴木 誠(34) 岩月 遼司(27)
福井 : 堀川 和宏(36) 日下 弘賢(29) 浮池 亮太(26) (敬称略)
- 8 日程 6月21日(土) 8:30～ 開講式(敦賀市総合運動公園体育館)
10:40～ 実技講習
17:30～ 講義
19:30～ 懇親会
6月22日(日) 12:20～ 実技講習
終了後 閉講式(敦賀市総合運動公園体育館)
- 9 宿舎 東横INN敦賀駅前 敦賀市白銀町5番20号 Tel 0770-20-1045
- 10 大会名 平成26年度北信越高等学校体育大会バスケットボール競技会
- 11 連絡責任者 福井県バスケットボール協会審判部長 仲埜 弘幸

平成26年度 北信越ブロック審判講習会 開講式

平成26年6月21日(土) 8:30～ 敦賀市総合運動公園体育館・トレーニング室

■福井県バスケットボール協会審判審査委員長 桑村 弥 氏

- ・今回の講習会には、各県の重点審判とYOC 枠から選出された若手の審判が集まっている。今回の講習で強化を図って頂いて10月の最終審査にぜひともノミネートされ、この中からひとりでも多くのA級審判が誕生してほしいと思っている。
- ・まずは普段の取り組みの100%の力を出せるように頑張ってもらい、普段の自分の取り組みは間違っていないか講師の方に指導を頂いて考えてほしい。
- ・怪我等のないよう体調には十分気をつけて頂き、今回の講習を実りのあるものにして頂きたい。



■講師挨拶 湯浅 剛 氏

- ・講習会では、北海道から沖縄まで各ブロックに派遣させてもらっているが、北信越ブロックに来るのは初めてなので楽しみにしている。



■講師挨拶 渡辺 雄吉 氏

- ・2日間という限られた時間ではあるが、何かを掴めるように講師を利用していただきたい。



実技講習 ～ミーティングの様子～

6月21日(土) B2

男子1回戦

新潟商業高校(新潟県)ー市立長野高校(長野県)

審判員 主審:堀川 和宏 (福井県)

副審:竹田 雄介 (富山県)

講師 渡辺 雄吉 氏



6月21日(土) B3

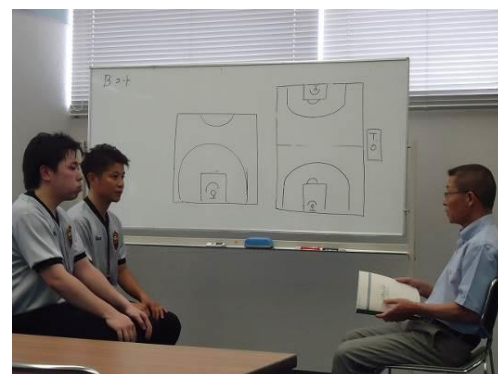
男子1回戦

北陸学院高校(石川県)ー松本第一高校(長野県)

審判員 主審:鈴木 宏 (新潟県)

副審:日下 弘賢 (福井県)

講師 湯浅 剛 氏



6月21日(土) A4

女子2回戦

足羽高校(福井県)ー東京学館新潟高校(新潟県)

審判員 主審:吉田 智子 (石川県)

副審:山本 達也 (富山県)

講師 渡辺 雄吉 氏



6月21日(土) A5

男子2回戦

北陸学院高校(石川県)ー帝京長岡高校(新潟県)

審判員 主審:堀川 和宏 (福井県)

副審:竹田 雄介 (富山県)

講師 湯浅 剛 氏



平成26年度 北信越ブロック審判講習会 講義

平成26年6月21日(土)17:30～ 敦賀市総合運動公園体育館・トレーニング室

<講師: 湯浅 剛 氏> テーマ:「審判として求められるもの～」

○心構えについて

- ・サッカーW杯で西村氏ら日本人のレフリークルーが開幕戦を担当しており、毅然たる態度でゲームを担当していた。判定については色々あったが、相当の心構えで臨まないと審判とは務まらないものである。
- ・サッカーの国際審判である家本政明氏の『主審告白』の中に、「refer」という言葉がある。「委ねる」という意味であり、人が人に委ねるということは相当な事であって、技術等の問題もあるが委ねられた人の人間性が大きな要素となってくる。

○社会人としての常識、良識

- ・時間や提出期限など当たり前の事を守る。
- ・私たちは、誰とどこでレフリーをするか分からない。委ねられた以上は一つのゲームを二人で協力してやり遂げなければならない。面識のない人と組むこともあり、そのようなときには、協調性や社交性など全ての部分を発揮して臨まなければならない。

○真摯さ

- ・マネージメントに最も必要なことは真摯さである。
- ・人には役割があり、役割を達成する為に何事にもひたむきに取り組むことが必要である。

○自己主張と謙虚さ

- ・自分の意見を述べることは必要なことである。ただし、自分の見方と違った意見に対して『受け皿』をもつこと。謙虚さは自分を成長させるに必要なものである。

○向上心と自己啓発

- ・現状維持は実質的には“後退”である。自分にできることは何でもやっという向上心を持つことが大事。バスケットに関するあらゆる情報にアンテナを張り、日本や世界が向かっている方向性を知ることや、自己啓発の本を読むことで自分の糧を作っていく向上心が重要である。

○チャレンジする気持ち

- ・人間なのでミスは起こる。
- ・考え方を工夫する。「絶対にミスをしないでおこう」ではなく、「同じミスはしないでおこう」や「残り半分はミスをしないでおこう」と考えてみる。考え方を变えることで集中力や緊張感が変わってくる。

○審判をするための環境づくり

- ・普段からやるべき事をしっかりと行い、この場(コート)に立てているのである。
- ・優先順位を間違えない、優先順位は固定されていない。
- ・職場においても外に出ていくための努力を行う。
- ・いつでも万全の体調管理・状態で臨めるように、トラブルを起こさないだけのトレーニングを行い、自己管理を行うこと。

○変えられないこと、変えられること

- ・年齢、制度、割り当て、人の評価、過去のミスなどは自分では変えることはできない。
- ・では変えられることとは何か。稲盛和夫氏の『生き方』という本のなかに、「結果(成果)は掛け算である。」という言葉がある。これは人生の法則である。心の在り方、姿勢、哲学、理念は大きな要素であり、「考え方」が変われば人生は変わる。



<講師：渡辺 雄吉 氏> テーマ：「上級審判員が考えるゲームコントロール」

- ・コントロールとは「統制、支配」といった強い意味合いがあり、最近『ゲームマネジメント』=「管理」という言葉が多く使われるようになっていく。
- ・「ゲームマネジメント」を考える上で一番重要なのは「正しい判定」である。まずは正しい判定を積み重ねることで信頼されるようになり、他のことができるようになってくる。
- ・良い位置とは、プレイやスペースを捉えられ、横を向いた選手が納得できる位置である。
- ・A級審判員を目指すときに心掛けたのは正しい判定である。自分のミスを減らすために回数制限を課してゲームに臨んだ。
- ・正しい判定には、正しい処置(ファウル、ヴァイオレーション、交代、タイムアウト、ショットクロック等)も含まれている。これができるようになると、自然にゲームマネジメントができるようになっていく。意識していくことで、カテゴリーに応じた判定基準もできるようになる。
- ・トラブルが起きてしまうこともあるので、その経験を通して処置の仕方を身に付けていく。トラブルは起きてみないと分からないこともある。当たり前のことを当たり前続けてやっていくことがゲームマネジメントに繋がる。
- ・正しい判定をやり続けていくことで味のあるレフリー、雰囲気の出せるレフリーになっていくものである。明日からのゲームでぜひ積み重ねてほしい。
- ・東京オリンピックに向けての国際審判員の養成はない。それはすでに取り組んでいる。チームにも審判員にも地元枠はない。



実技講習 ～ミーティングの様子～

6月22日(日) B3

女子3位決定戦

高岡第一高校(富山県)－鵬学園高校(石川県)

審判員 主審:岩月 遼司 (長野県)

副審:梅田 香 (福井県)

講師 湯浅 剛 氏



6月22日(日) B4

男子3位決定戦

十日町高校(新潟県)－帝京長岡高校(新潟県)

審判員 主審:中村 勇也 (石川県)

副審:早川 貴章 (新潟県)

講師 渡辺 雄吉 氏



平成26年度 北信越ブロック審判講習会 閉講式

平成26年6月22日(日)15:50～

■講師講評 湯浅 剛 氏

- ・ブロック全体として、バスケットに取り組む姿勢や雰囲気は大変良い。
- ・よりよい判定をするための位置を考えてもらいたい。判定ミスをするときは、位置が悪いことが多い。一生懸命動くことで見えなくなることもあるので、一生懸命走りながらの判定の不確実さ、動くことのリスクも考えること。
- ・スペースを捉える意識は必要だが、一生懸命何をするのかを考えていてもらいたい。



■講師講評 渡辺 雄吉 氏

- ・バスケットのプレイを判定する意識をもつこと。
1対1を判定するためにするのはいい。視野が広がっていくことにつながる。
- ・「どこに立つ?」「なぜそう動くのか?」「そこでいいのか?」を考える。
- ・”Why to move?”なぜ動くのか。走るだけが動きではない。見やすい位置に移動するのが動くことであり、歩くことや動かないことがよい位置取りになることもある。その場に行くことが目的ではなく、判定するのが目的である。
- ・熱心に誠意を込めて審判している姿は続けてほしい。



■福井県バスケットボール協会審判審査委員長 桑村 弥 氏

- ・各自の取り組みの方向性を確認して欲しい。
- ・自分なりに振り返り、反省し、修正する。今日から出来ることはすぐにでも取り組んで欲しい。
- ・今回の講習で自分たちが気づけなかったところを取り入れて行動して欲しい。
- ・4年後の福井国体に上級として立てるようにしてほしい。

